



# ～渡良瀬遊水地～ 自然紹介



2026.7.22

梅雨明けとともに、身体にこたえるような暑さがやってきましたね。暑さに拍車をかけるようにセミの鳴き声があちらこちらで大合唱。そんな暑さの中でも、ホソバオグルマは元気にたくさん咲き始め、小さな向日葵のよう。トンボも飛び交う姿がよく見られるようになりました。暑い時間は避け、涼しい時間にぜひお出かけください。

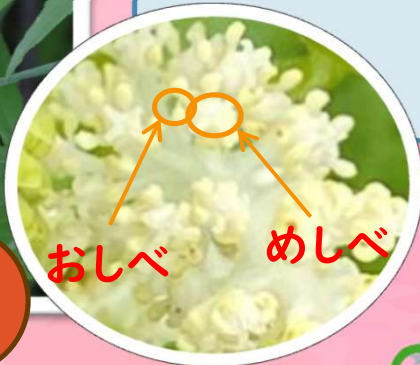


**ハンゲショウ**  
ドクダミ科

はんげしょう

「半夏生」は七十二候の時期（7月2日頃）に由来し、まるで「半分だけ化粧をしたように見える」ことから「半化粧」と呼ばれたとか。江戸時代後期に岩崎灌園が編纂した本草図譜では、上部の三枚が白くなることから三白草（さんぱくそう）という名でも紹介されています。

ハンゲショウの花は、がくも花弁もない地味な花。アジサイやドクダミなどと同じで、花ではない別の器官である葉の白化による視覚的アピールで昆虫を引き寄せ、受粉をたすけていると考えられています。なので、花が咲き終わるとまた緑色の葉に戻ります。



**ホソバオグルマ**  
キク科

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



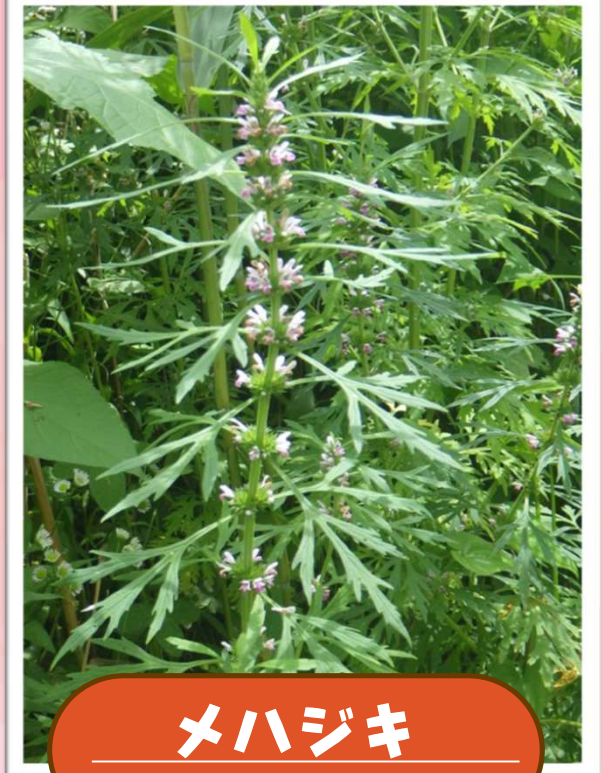
**コマツナギ**  
マメ科



**コシアキトンボ**  
トンボ科



**ヒメナミキ**  
シソ科



**メハジキ**  
シソ科

## ウズラ

キジ科



絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

## アゼオトギリ

オトギリソウ科



絶滅危惧ⅠB類 (EN)

## ホンドイタチ

イタチ科



ハムシの中では  
最大級



準絶滅危惧 (NT)

## オオルリハムシ

ハムシ科

エビヅルは雌雄異株  
これはめばな (両性花)

## エビヅル

ブドウ科



## ウワミズザクラ

バラ科

## シオデ

サルトリイバラ科

めばな

シオデは雌雄異株のつる植物。別名、牛尾菜。葉の基部にひげがあり、ほかの植物などに絡みながら生長し、球形の散形花序が、葉腋につきます。線香花火のようでめばなおばな共に可愛いですね。

新芽は山菜として親しまれており、「山のアスパラガス」と言われています。シオデを育てている方から一度頂いたのですが、癖がなく、とてもおいしい山菜でした！

おばな

